



自生園・那谷寺は
未来に向かって歩む

理事長 木崎 馨山

新年あけましておめでとうございます。
昨年は年明けからの不穏な始まりでした。コロナ感染症蔓延により、高齢者はさぞ不安であったことでしょう。まだパンデミックは続いていて、街などに出かけようにも足がすくんでしまいます。

三密を避けることが難しい介護の現場では、可能な限りあらゆる努力をしています。全国で介護施設では多くの感染者が出ています。早くワクチンが高齢者に行き渡るよう、観音さまに祈り続けることしか私にはありません。

もうひとつ世界規模の課題があります。それは危険な気候変動です。社会は世の中は地獄の上の花見かなの状態にあります。多くの生命の種の絶滅が始まっていて、人類誕生以来、最も危険な状態にあります。

積尊の縁起の法則をあてはめれば、今のままでは人類文明が崩壊してしまいます。IPCC(※1)の報告以上に温暖化が加速しているからです。例えば海水温上昇によるCO2吸収の減少、グリーンランド氷河は20年前よりも7倍融ける、シベリアの4月28日の最高気温が38℃、カリフォルニアアラスカの最高気温が54.5℃、など恐るべき現実があります。

国連は、貧困飢餓をなくそう・質の高い教育をみんなに・福祉の向上・地球環境を守ろう、など17の目標をあげ、2030年までに達成をと「SDGs」をクリアすることを求めましたが、日本は2050年まで先延ばししました。

自生園設立の折にお世話になった清水時雄氏の遺産により始めた公益事業清水基金も、共に社会貢献を目指し、「世間善し・事業善し・職員善し」の幸せの三方善しを行うことを使命としていて、実践を続けています。

那谷寺はコロナパンデミックで苦境に立たされていますが、高齢者福祉と公益事業清水基金を前進し、強化されています。気が付けば福祉と環境・ラオスやチベット亡命政府の教育支援や貧困飢餓救済事業・災害支援活動を実践した結果、計らずも国連のSDGsの目標の15の部門を実践していることに気付きました。

住み続けられるまちづくりや使う責任の部門では小松市にお任せですが、その他の改善は一地方の公益法人としては、トップグループを走っていると思います。地球温暖化に対応する「カーボンニュートラル」といって、自然が吸収するCO2と、人が排出するCO2をプラスマイナスゼロにするには、まだ努力が必要ですが、多分私の住職の時代ではなく、警鐘(※2)が住職になったとき、少なくとも2030年までには自生園を省エネにしたり、CO2もゼロになるでしょう。

孫たちの時代になると、残念ながら宗教指導者はいません。現代には積尊のような指導者が必要です。科学・哲学を説き、2012年カーボンニュートラルを実現したビル・ゲイツ氏の利他行を見習うべきです。

※1 国連気候変動に関する政府間パネル
※2 那谷寺副住職・社会福祉法人自生園常務理事 木崎馨雄

九州豪雨災害への支援活動を通じて

去年7月、豪雨により九州南部を中心に甚大な浸水被害が生じました。

この災害で被災された方々を支援するため、自生園では那谷寺清水基金を通じて支援物資(タオル類、ブルーシート、大人用紙オムツ、肌着、靴下、軍手、マスク、消毒液、など段ボール10箱)を被災地の熊本県に送りました。

去年は台風、大雨などの自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが起り、熊の出没が急増し人身被害が多発するなど、記憶に強く残る1年となりました。今、こうした様々な脅威やリスクに対応できるような備えが求められています。

自生園は介護施設として、いつでも、これからも安心、安全な介護サービスを提供するために、様々なリスクに対応できるように努めて参ります。



おしらせ

40周年に向けて「自生園ブランディング・プロジェクト」進行中!

石川県内における「盲老人ホーム」開設の要望から、1981(昭和56)年6月「養護(盲)老人ホーム 自生園」の事業がスタートし、高齢者の幸せを願う活動が始まりました。昭和60年には「特別養護老人ホーム」、昭和63年にはデイサービス事業開始と、超高齢化社会の到来と介護保険制度の推進に伴い、高齢者福祉事業を続けてきました。そして、多くの方々のご支援・ご協力のおかげで、2021年に40周年の節目を迎えることとなりました。

この機会に、これから先も事業を継続し、より高いレベルでのサービスの提供をめざして、現在の課題となる15のテーマをピックアップし、その課題解決を図る「自生園ブランディング・プロジェクト」を立ち上げました。

各チームのリーダーには次世代を担う若手職員を配置し、テーマごとに検討を行って参りました。そしてこの11月には「中間報告会」を開催し、各リーダーがこれまでの活動や今後の方針などをプレゼンしました。

当面のゴールである今年の6月に向けて、自生園の事業方針である「世間善し・事業善し・職員善し=三方善し」の推進と、「巡る・つながる・続いていく」持続循環型社会の構築をめざし、このプロジェクトを続けていきます。最終報告をお楽しみに!



パシャ! 思い出スナップ



ご芳志 令和2年4月~令和2年9月

- 平面町平寿会
- 長池製菓
- 国際ソロプチミスト小松
- 石倉薬局
- 日本介護支援協会
- 株式会社 石橋
- N&Fテクノサービス 株式会社
- 市民セレクト 株式会社
- 長寿メディカル 株式会社
- 日野自動車 株式会社
- 株式会社 サブラ
- スジャータめいらくグループ

個人情報保護の観点から、個人名の記載は省略させていただきます。(順不同・敬称略)

どうもありがとうございました。

編集後記

はじめまして。本号より自生園だよりの編集に関わることになりました。新人職員の鹿野です。少し自己紹介をさせていただきますが、私は障害をもっており、身長が7月の半分ほどしかありません。ご縁が7月から自生園で働かせていただくことになりました。体のハンデを考慮した仕事を与えてもらっており、やりがいをもって楽しく働いています。最近では、ホームページの「今日の自生園」の更新に尽力しています。さて、自生園のケア方針のついでに、「二人ひとりの異なる個性(人生・生活・価値観)を理解、尊重します」とあります。ご利用者様の思いを大切に、個人に合わせた細かなケアを考え取り組んでいます。今回、特集した「食のこだわり」も根本は同じです。ご利用者様の食事の多様な要望に、効率の良いシステムの導入を応えられるようになりました。食欲のない方には食べたいものを尋ねて献立とは別に用意したり、ご利用者一人ひとりに最適なケアを検討しています。入社間もないですが、こういった場面をよく見かけ、自生園の精神が少しずつ見えてきたような気がします。これから自生園の魅力を皆様にご紹介できたらいいな、励んでまいりますのでよろしくお願いたします。

自生園は「食」への想いを大切にします

「食」で心を豊かにし「食」で命をつなげる自前厨房のこだわり！

自生園では、3事業所(養護(盲)老人ホーム・特別養護老人ホーム・デイサービス)のお食事を一つの厨房内で調理しています。

各事業所ごとに連携をとり、少しでも多くの要望に応えられるよう、5つの調理工程(クックサーブ・クックチル・ニュークックチル・真空調理・クックフリーズ)を取り入れ、

“季節感を楽しんでいただける食事”“最後まで口から栄養を摂れる食事”を目指しています。

心を豊かにする「食」

季節感のこだわり

旬の食材をとり入れた行事食メニュー
見て楽しみ、匂いで楽しみ、
味覚で楽しみながら
心も身体も元気になる お食事



一人鍋で
皆さん大満足！



敬老御膳



紅葉御膳

アツアツのこだわり

食器ごとに料理を再加熱するため、
アツアツのお食事を提供
蒸気の効果で乾燥・こびりつきもなく、
ふっくらご飯の出来上がり！！



いつでも
ふっくらご飯と
アツアツのお食事



調理のこだわり

咀嚼機能が衰えてきた方でも、
食材を制限しなくても美味しく
食べられるように低温調理すれば、
お肉でも柔らかく、サンマは骨ごと
食べられるように調理を工夫したお食事



骨ごと
食べられるから
栄養たっぷり！



見た目と味のこだわり

嚥下困難な方でも、目で楽しみ、
素材の味を生かした味付けを心掛け、
飲み込みやすいように
食塊のまとまりやすいように配慮した
嚥下食



病院と連携して
レシピを考案
自生園自慢の自家製
がるんゼリー

見た目もケーキ
そっくりな
嚥下ケーキ



ご利用者様の声

イベント時のご飯は毎回楽しみ！どれも美味しいです。次回の献立メニューを覚えているくらい楽しみにしています。



最近の白飯はとっても美味しく、炊き立てのホカホカで粒もしっかりしてます。白飯だけでも満足できるくらい美味しい。

リスク対策もバッチリ！

何らかの事情で厨房が稼働できなくなっても、短い期間であれば食事を提供できるよう真空包装機や急速凍結機などの機器を導入しました。これにより、常に5日分の食事をストックしています。もちろん嚥下困難な方でもいつもの食事形態で召し上がっていただけます。



出来立ての料理を食事形態別にパックして冷凍保存



急速凍結機